

学校改築における中学校施設のあり方について

平成 23 年 4 月策定

1 基本的な考え方

(1) 学習環境の充実

これからの情報化、国際化など社会状況の変化に対応しうる学校教育を推進するためには、学校の創意工夫を活かした教育活動に柔軟に対応できる空間と、多機能で情報技術の発達に適応できる施設整備が必要である。また、長期的な視点から新たな教育内容や教育方法に弾力的に対応できるような、教室構成の配慮や用途や間仕切りの変更などが行える構造とする。

(2) 生活空間としての環境づくり

生徒が一日の大半を過ごす「生活の場」となることから、落ち着いた学校生活を送り、豊かな人間性を育むことのできる空間として整備する。また、自然採光や室内の色彩の工夫、防音や遮音への配慮、木質系建材の使用などにより、安らぎのある快適な施設とする。

(3) 安全・安心な学校施設の推進

生徒が安全にかつ安心して学校生活を送ることができるよう、きめ細かく安全の確保に配慮する。地域からも学校内部からも見通しがよく、来訪者の確認や不審者の侵入抑止がしやすい施設とするとともに、学校内にあるすべての施設・設備については、生徒の多様な行動に対して安全性を十分に配慮する。

(4) 環境への配慮

環境負荷に配慮した「エコスクール」を目指し、自然エネルギーの活用、省エネルギー対策、資源の再利用、学校の緑化など、環境に配慮した施設とする。また、環境教育の教材としても活用できる施設とする。

(5) 施設のバリアフリー化の推進

障害の有無や程度、年齢などにかかわらず、すべての人にとってやさしく使いやすい施設とする。

(6) 防災拠点機能の向上

震災や水害などの大規模な災害が発生した際の地域防災拠点として、地域住民の期待に応えることのできる災害に強い施設とする。建物の耐震性を十分確保するとともに災害時の使用も考慮した校舎のレイアウトを採用し、また物資・資機材倉庫の設置など、災害時の対応に配慮した施設とする。

(7) 地域活動の拠点

「共育・協働プロジェクト～地域とともに歩む学校づくり～」(※1)を進めるにあたり、これまで以上に地域の教育力が必要となる。地域に根ざす教育の一層の推進が図れるように情報交換の場を整備していくことにより、「学校応援団」(※2)など学校教育活動を支える人々の拠点の場となる施設とする。また、地域活動や生涯学習の拠点ともなるよう、セキュリティに配慮しながら学校施設の有効利用や、将来の機能付加・機能転換を円滑に進めることができる施設構造・施設形態とする。

※1 子どもの確かな学びと豊かな育ちを実現するため、家庭・学校・地域社会の緊密な連携のもと、すべての区民が「ふるさと『えどがわ』を知り、愛し、活躍できる子ども」の育成に参加することを目指す取り組み

※2 学校の活性化、地域の教育力の活性化のため、地域などが学校を応援する体制

(8) まちづくりへの配慮

区のまちづくりプランの目指す「安全で快適、そして潤いと活力あるまち」に資するよう、地区まちづくりなどと調和した学校施設とする。

(9) ライフサイクルコストの縮減

建設の初期投資を抑えるだけでなく、日々の光熱水費や将来的に発生する改修・維持・管理にかかるメンテナンス費用も考慮した、ライフサイクルコストの縮減を図る。また、施設の長寿命化に配慮する。

(10) 改築工事期間中の生徒への配慮

改築工事期間中においては、保護者や地域、近隣校を含めた多くの人たちの協力を得ながら学習や運動の場を確保するなど、生徒が可能な限り安定した学校生活を送れるよう、安全と学習環境に十分配慮する。また、改築工事期間中、生徒が「新しい学校」に期待を持ちながら、日々の学習に取り組めるような活動を教育課程に位置付ける。

2 施設・設備内容等

(1) 学習環境の充実

- ・ 少人数指導による学習やグループ学習、選択学習など多様な学習内容・学習形態による活動を可能とし、将来の用途変更にも柔軟に対応できるよう、間仕切りの変更などを行える構造とする。
- ・ 廊下や多目的室などのスペースを活用し、普通教室のそばに学年活動などができるスペースを工夫する。
- ・ 教室の形態は、学年や学級のまとまり・コミュニケーションを重視し、各学級の教室で授業を行うことを基本とした特別教室型とする。
- ・ ICT (情報通信技術) を活用した情報教育や学習指導をより行いやすくするため、授業で使う画像・動画 (教育用コンテンツ) やインターネットを積極的に活用できるネットワーク環境を整備する。
- ・ 本区で特に力を入れている読書活動推進のため、図書室を地域や保護者が学校と協力し生徒たちの読書活動を支援しやすい場所に配置する。また、図書室を中心にパソコン室・多目的室などと連携して、情報メディアセンターおよびラーニングセンターとしての充実を検討する。
- ・ 理数教育の充実のため、多様な実験器具や情報機器等が活用でき、演示実験のしやすさに配慮した理科教室とする。
- ・ 武道の必修化に伴い、武道が安全かつ円滑に実施できる空間を確保する。
- ・ 特別支援学級関係諸室は、障害の程度や状態、学習内容などに応じた指導ができるよう柔軟に対応できる空間を確保する。
- ・ 体育系および文化系の各部活動が行える施設とする。
- ・ 冷暖房設備を教室や管理諸室などに配備する。

(2) 生活空間としての環境づくり

- ・ 施設は採光、通風などに配慮した居心地の良い空間とする。
- ・ 教室や廊下などは、学習の場であると同時に生活の場・コミュニケーションの場となるよう、生徒の居場所づくりに配慮する。
- ・ 職員室・保健室・教育相談室などの配置は、生徒が気軽に立ち寄れるように配慮する。
- ・ 管理諸室は、教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、校務作業がしやすい動線・空間づくりに配慮する。
- ・ トイレは明るく温かみがあり、清潔で安心できる空間づくりに配慮する。

(3) 安全・安心な学校施設の推進

- ・ 敷地内や建物内および外部からの見通しを考慮した建物配置とする。
- ・ 不審者の侵入防止や犯罪防止などの観点から、施設配置や防犯設備の導入を検討するとともに、外部からの来訪者など人の出入りを確認しやすい位置に管理諸室などを配置する。
- ・ 生徒の事故防止に配慮した施設とする。

(4) 環境への配慮

- ・ できる限り自然の採光、通風を確保した校舎設計とする。
- ・ 断熱性を高めるなどにより、夏涼しく、冬暖かい校舎とする。
- ・ 太陽光発電の設置や屋上緑化、芝生化、緑のカーテン、雨水の利用などを検討する。
- ・ 環境教育への活用にも配慮した施設とする。

(5) 施設のバリアフリー化の推進

- ・ エレベーターの設置、段差の解消、玄関・トイレ・廊下などのバリアフリー化を行うなど、ユニバーサルデザインの観点にも配慮した施設とする。

(6) 防災拠点機能の向上

- ・ 災害時の避難所である屋内運動場と連携しやすい場所に物資・資機材倉庫を設置する。その際、水害時の対応にも配慮する。
- ・ 災害時には暑さ・寒さ対策として扇風機・ヒーターが使用されるため、屋内運動場に対応可能な電気容量を確保する。
- ・ 避難所と災害対策本部および地域拠点間の双方向で連絡のできるように、屋内運動場などに情報通信設備を整備することを検討する。
- ・ 災害時のトイレを確保するため、避難所となる屋内運動場の近くに、プールの水などを活用したマンホールトイレを整備する。
- ・ 防火用水や非常時の生活用水などとして、プールの水を有効に活用できるよう検討する。
- ・ ハザードマップなどを参考に雨水貯留施設や屋内運動場の配置を検討する。
- ・ 災害時に給食室を活用できるように配慮する。

(7) 地域活動の拠点

- ・ 屋内運動場、学校応援団ルーム、会議室、図書室、ランチルーム、音楽室、家庭科室、パソコン室、プールなどについては、地域開放を考慮した配置とする。
- ・ 管理面においても、放課後や休日、夜間の開放利用を考慮した動線やセキュリティ

ティに十分に配慮する。

(8) まちづくりへの配慮

- ・ 建物の外観や色彩、周辺環境との調和などについて、景観計画との整合を図る。
- ・ 地区計画などとの整合を図る。

(9) ライフサイクルコストの縮減

- ・ 機器・備品類の設置位置に配慮し、清掃や維持管理を行いやすい施設とする。
- ・ 機器・備品類にはできる限り汎用製品などを用い、日常の管理及び軽微な修繕や機器更新を合理的に実施できる施設とする。
- ・ 冷暖房設備など旧施設で利用した機器・備品類については、できる限り使用していく。
- ・ 効率良く採光・通風を確保し、かつ断熱効果を高めることにより、冷暖房費の削減を図る。
- ・ 冷暖房設備は、各室単位で任意に運転ができ、消し忘れなど無駄な運転がないよう職員室などにおける集中管理も可能な制御システムとする。
- ・ 施設の長寿命化のために、建物の基本性能を確保しつつ用途変更にも柔軟に対応できる施設とする。

(10) 改築工事期間中の生徒への配慮

- ・ 学校部分と工事部分を仮囲いにより区画するなど、安全対策に十分配慮する。
- ・ 低騒音機械の使用や防音シートの使用などにより、騒音対策を十分に行う。
- ・ ゆとり確保のためのスペースを仮設校舎に設置する。
- ・ 工事現場の見学などにより、工事期間中だからこそ経験することのできる建設工程や役割分担、安全対策などを学習する機会とする。
- ・ 校庭の使用が大幅に制約されるため、近隣の学校施設や公園等を活用して体育授業などに支障のないよう配慮する。